

平成 30 年度オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業

京都府オリンピック・パラリンピック教育推進校セミナー

日 時：平成 30 年 6 月 11 日（月） 14 時 00 分～16 時 30 分

場 所：京都市上京区東堀川通下長者町下る ホテルルビノ京都堀川 2 階「加茂の間」

参加者数：61 名（推進校 51 名、自治体 7 名、大学 2 名、パラサポ 1 名）

概 要：

1. 開会挨拶

京都府教育庁指導部保健体育課総括指導主事 柏木 佳久

2. オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明

筑波大学体育系助教 大林 太朗

3. 教育教材「I'mPOSSIBLE」(中高版・小学校追加版)の効果的活用について

日本財団パラリンピックサポートセンター 推進戦略部プロジェクトリーダー  
山本 恵理

—休憩—

4. 実践事例紹介及び事業実施上の留意点等について

京都府教育庁指導部保健体育課指導主事 塩川 拓司

5. 情報交流（各校の取組概要、昨年度の課題を踏まえた工夫等について）

- 古川小、木津川台小、井出小
- 相楽小、上狛小、多賀小
- 園部中、栗田中、白糸中
- 大山崎中、山城中、蒲生野中
- 泉ヶ丘中、和知中、綾部中、宮津中
- 久御山高、南丹高、網野高
- 北桑田高、田辺高、須知高、久美浜高
- 鴨沂高、鳥羽高、乙訓高、西乙訓高
- 東稜高、洛水高、京都八幡高、綾部高
- 洛北高、京都すばる高、城陽高、西城陽高
- 北嵯峨高、菟道高、西舞鶴高、加悦谷高
- 盲学校、宇治支援学校、南山城支援学校、舞鶴支援学校
- 聾学校、与謝の海支援学校、城陽支援学校、丹波支援学校
- 向日が丘支援学校、八幡支援学校、中丹支援学校

6. 閉会挨拶

内容詳細：

- **開会挨拶**

京都府教育庁指導部保健体育課総括指導主事柏木氏より挨拶があった。

- **オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業概要説明**

筑波大学体育系助教大林氏より本事業の趣旨や目的、事業内容について説明された。また、京都府での特徴的な実践事例やオリンピック・パラリンピックの歴史や理念が紹介された。最後に、アンケート協力について説明された。

- **教育教材「I'mPOSSIBLE」(中高版・小学校追加版)の効果的活用について**

日本財団パラリンピックサポートセンター推進戦略部プロジェクトリーダー山本氏より、教育教材「I'mPOSSIBLE」が紹介された。実際に教材を用いて、事業実施方法の説明やグループワークが行われた。

グループワークは、二人一組となり「公平」をテーマとして行われた。「車いすの生徒がいる場合、運動会で玉入れをする際どのようなルールであるとみんなが楽しく競い合えるだろうか」について、以下の話し合いが行われた。

①車いすの生徒が玉入れをする時に、「難しいこと」について考えて下さい。

②車いすの生徒にとって「難しいこと」を踏まえて、みんなが楽しく競い合えるルールについて考えて下さい。

- **実践事例紹介及び事業実施上の留意点等について**

京都府教育庁指導部保健体育課指導主事塩川氏より、京都府における「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」について説明された。オリンピック・パラリンピック教育の意義や実践内容、広報、事業報告書、経費使用について説明された。また、昨年度の京都府での実践事例及びワークショップでの意見等が紹介された。

- **情報交流(各校の取組概要、昨年度の課題を踏まえた工夫等について)**

各グループ3~4校の同校種に分かれて、情報交流が行われた。昨年度の実践における工夫等について話し合われた。

- **閉会挨拶**

京都府教育庁指導部保健体育課課長村上氏より挨拶があり、散会した。



写真 1. 会場の様子①



写真 2. 会場の様子②



写真 3. 会場の様子③



写真 4. 情報交流の様子